

財政調整基金を
国保税の引き下げに



菅原 勇喜 議員

議員 平成24年度末国保会計財政調整基金残高見込み額は、2月補正時と比較すると、わずか1カ月で2億8000万円も増額し、7億7670万円となっている。増額分だけでも一世帯あたり2万円強となる。国保税引き下げを求めたいかがが。

市長 平成25年度予算で、3億5000万円の基金取り崩しを行うことにより、基金残見込み額は4



8時30分から22時まで1人で管理

億2680万円となる。今後も安定的で継続的な保険財政運営を行っていく。

**公民館に職員を配置し
使用料を無料に**

議員 行財政改革を進めてきた結果、合併以来8年間で職員を200人近く削減し、さらには公民館の有料化なども行ってきた。公民館から職員を引き上げ有料化した

結果、非常に利用しづらくなったとの声が寄せられている。職員を配置し、以前のように使用料を無料にすべきと考えるいかがが。

市長 業務委託で対応していると市民の利便性が確保できていると認識している。使用料については平成23年度から旧町村ごとにまちまちだったものを統一している。

萩野団地住民と
話し合いを！



小野 久一 議員

議員 金成萩野団地の水道水の異常はいつからか。

市長 平成20年岩手・宮城内陸地震の影響で有壁浄水場の揚水量が減少、さらには鉄・マンガンの数値が高くなり、既存ろ過機の浄水能力では、水質基準を満たすことができないと判断した。

議員 民間ではない栗原市の分譲購入された住民の不満と怒りは大

きなものがある。団地住民を一堂に会して、これまでと今後の対応について説明会を開くべきである。

市長 未分譲地の販売を促進するためにも、団地住民との意見交換会の開催に向けて検討していく。

議員 萩野団地入りの案内標識が必要ではないか。

市長 標識設置の必要性など、住民の意見を参考に調査、検討する。



太田公園から見た萩野団地

投票率向上へ努力を

議員 有権者は候補者を知る場を、候補者は政策を訴える場を求めている。多くの施設で個人演説会ができるようにすべきでないか。

選管委員長 今後検討していく。

議員 期日前、当日とも、障害者にやさしい投票所に。

選管委員長 選挙人の多い投票所には、複数台の車いすの配置を検討する。また、各投票所に文鎮を用意する。

中心市街地の
活性化を図れ



高橋 渉 議員

議員 人口減少が進み、高齢化率が上昇することによって、各地区を中心市街地は空洞化が進んでいる。中心部を暮らしの場と活性化の拠点と位置付け、集中的な投資を行い、中心部に人口を取り込み、居住人口を増やすべきでは。

市長 商工会や商店街、地域住民が自らアイデアを出し合って、主体的な取り組みに対し積極的に支援したい。



最大の関心事 旧築高跡地

市民活動支援センター
の管理は

議員 市民活動支援センターは、市民にとって便利な施設となっている。公設民営が基本となっているが、早急に指定管理者を選定すべきではないか。また、NPO法人の育成と支援についての考えは。

市長 平成26年度の指定管理者への移行を目指している。

NPO法人の組織強化が図られるよう今後も支援と育成に努める。

私もひとこと

むら(地域)は無事か？



白鳥 文雄さん
(一 迫)

知人がよく聞く問いです。日々の暮らしや地域行事が当たり前に行われていますか。との問いです。私はいつも「はい」と答えます。その理由は、ある民族学者の方の「地域の元気度は、祭りが継がれているか」を見るとよくわかるという視点で、私の住む集落や金田地域を見渡した時、いつもながらの行事や祭りが今も行われているからです。

とりわけ、金田地域8行政区が「コミュニティ推進協議会」に結集して、4年に一度行われる「火伏せまつり」は圧巻です。また、2年前から加わった小学生の演奏による「金田盆唄」の盆踊り大会は、ト田舎の小さいながらも盛大な祭りになり、今年も間もなくやってきます。今年、中高生も是非演奏に参加したいと張り切っているのです。指導に当たる一人としてうれしい限りですし、地域の元気度アップに「一役貢献しよう」と思っています。

やっぱり瀬峰が好き



小野寺とみ子さん
(瀬 峰)

栗原の表玄関である瀬峰駅、市になる当初、おのの議員さんが駅周辺を明るく、活気を取り戻そうとしていました。仙台圏との通勤、通学の利便性などうたい文句を掲げたようでしたが、今はどうでしょう、寂しい感じですか。以前の支所は鍋底に入っていくみたいで、とても嫌でした。震災でさら地となり、保健センターや診療所のあるところに新築中です。さて、次の課題として幼稚園、保育所がどこに移転となるのか。大切な子ども達を人通りのある明るい場所へと願います！また、駐在所も町の人が分らないうちに別の場所に移り、今はさら地になっています。

人口がどんどん減って、私もパパ、ママ、企業も生活していくのが大変なことです。市の行政のことは、分からない知らないで済ませようとしてきた私も、難しいことはさておいて、市民として興味を持ち始めました。議員さんは、人づくり、まちづくりと言っていますが、まずは議員自身から？そうは言いつつも、私はこのまちが好きです。

あじがき

5月臨時会と長丁場の6月定例会が閉会し、間髪をいれずに「市議会だより」の編集と、新人議員としてのあわただしい中に3カ月が経過いたしました。

今回の「市議会だより」第36号は、広報編集調査特別委員会委員9人の初めての合作号であり、市民の皆さんに、市議会の本会議や委員会での審議内容を、より臨場感を持つてお伝えすべく努力しましたが、いかがでしたでしょうか。

地球温暖化と相關するの、今年も酷暑の夏が予測されています。自助の精神で、ご自愛專一に……。

佐藤 範男

広報編集調査特別委員会

- 委員長 佐々木 脩
- 副委員長 佐藤 範男
- 委員 菅原 勇喜
- 委員 高橋 渉
- 委員 菅原 久男
- 委員 藤原 昭男
- 委員 佐藤 千悟
- 委員 佐藤 悟
- 委員 高橋 勝男
- 委員 小野 久一
- 議長 長石川 正運